

出初式 堂々で行進する消防団員！



佐々町の「これから」をどう描く!?

## 先進地視察研修

奈良県広陵町・岐阜県笠松町

佐々町議会だよりHP  
QRコード



令和7年11月17日(月)に奈良県広陵町で、18日(火)に岐阜県笠松町で視察研修を実施しました。参加者は、議員10名、議会事務局2名、執行部2名の計14名です。

## 奈良県広陵町

### 町有地の利活用について (跡地利活用におけるサウンディング調査)



意見交換中の雰囲気

佐々町では、未活用の町有地が町内に点在しており、これまで一般質問の場においても、多くの議員から利活用に関する提案がなされてきました。一方で、「町民ニーズに合致しているのか」「事業として継続可能なのか」といった課題もあり、具体的な進展に至っていないのが現状です。こうした背景から、町有地利活用の先進事例として広陵町を視察しました。

サウンディング調査とは、自治体が公共施設や未利用地の活用を検討する初期段階において、民間事業者との対話を通じて、市場性や事業成立性を把握するための調査手法です。特に、未利用町有地の利活用や公共施設再編、PPP/PPF事業※の検討において有効とされています。



長瀧ブルーパークの入り口

佐々町では、これまでサウンディング調査の実績がなく、今回の説明は非常に参考となりました。また、公共施設跡地を民間事業者に売却し、利活用された具体例として「長瀧ブルーパーク」を視察しました。長瀧ブルーパークは、広陵町に所在する長瀧酒造

が運営する、日本酒やクラフトビールを楽しむ施設で、令和4年3月にオープンしています。以前は幼稚園として使用されていた施設で、住宅地の中心に立地していることから、現在では大人から子どもまで幅広い世代が集う場となっています。人工芝のスペースが設けられ、子どもたちの遊び場としても活用されているほか、季節ごとのイベントも開催され、町民に親しまれている施設です。

まず、町民の声を大切にしながら、持続可能で、次の世代にも誇れる利活用の在り方を模索していくことが必要だと感じました。今回の学びを今後の議論や政策提案に生かし、佐々町の魅力と活力の向上につなげていきたいと考えます。

※PPP/PPF事業とは：行政と民間が連携して、お互いの強みを生かすことによって、最適な公共サービスの提供を実現し、地域の価値や住民満足度の最大化を図るもの。



長瀧ブルーパークで集合写真



# 先進地視察研修

## 岐阜県笠松町

### 熱中症対策について

#### (体育館等におけるスポットクーラーの設置)



スポットバズーカ

今回の視察先を選んだ理由として、佐々町では、まだ体育館へのエアコン設置ができておりません。そのため、定例議会の一般質問でも、エアコン設置について度々議題にあがっています。設置が検討されていますが、多額の費用もかかるため、なかなかすぐには導入できないのが現状です。それでも教育委員会では様々な方法を検討され、スポットバズーカについても情報収集されていました。

そこで、すでに導入されている笠松町を訪問し、実際にスポットバズーカを体感してきました！



片面に3基ずつ

いての話を聞き、事前質問に対する回答の説明を受けました。質問では、清掃や点検の頻度、どこに頼んでいるかなどメンテナンス面のことや、メリット・デメリットなどを伺いました。また、ランニングコストや、リース総額などの詳細な資料もいただきました。その後、実際に設置されている松枝小学校の体育館へ移動し、冷暖房の機能を持つスポットバズーカを見学しました。こちらの小学校には、片面3基の計6基設置されていました。

電源を入れてから、冷えるまで時間もかからず、音も大きくなかったので、式典などでも問題なく使える



風の通りを考えて設置されている

と感じました。ただ、やはり卓球やバドミントンは風の影響を受けてしまうようです。他の球技や、体育の授業には影響ないとのことでした。また、実際に使用されている先生方にも話を聞くことができ、とても参考になりました。

笠松町では、一般の方の体育館利用時はコインタイマー式になっており、消し忘れなどもなく、使うかどうかの選択もできるのでいい方法だと感じました。

お忙しい中、笠松町職員の方をはじめ、実際に使用されている小学校の先生にもご対応いただき、また、たくさんの質問にご回答くださり、大変勉強になりました。実際に体感できたのはとてもよかったです。

佐々町でも少しでも早く導入できるように、費用面や、どのタイプの物が適しているかなど、検討を進めていきたいと思います。



広報委員会メンバー

# (条例・補正予算)

## 国民健康保険税条例の一部改正の件

国民健康保険を財政運営するにあたり、歳入の不足分を財政調整基金を取り崩して運営してきましたが、令和8年度には基金が尽きる見込みであることから安定した財政運営を確保するため、国民健康保険税率を改正するものです。

\* 財政調整基金（地方自治体が年度ごとの財政の変動や急な支出などに備えるために積み立てておく預金）

### 反対討論

国民健康保険財政の悪化は、町の運営上の問題ではなく、県単位化に伴う拠出金増が直接的な要因だと考える。県単位化は、人口や赤字の多い自治体の負担を支えるものであり、町が健康づくりの努力をして蓄えてきた基金が削られるのはやるせない気持ちである。各地で国保税の引き上げが続く中、物価高騰に苦しむ町民に対して、1ヶ月に4,700円も上がるというのは、容認できない。

### 賛成討論

物価高騰に苦しむ町民が国民健康保険税の引き上げに納得できない気持ちには強く共感する。しかし、本改正は、さらなる負担を目的としたものではなく、制度を持続させ、将来も安心して医療を受けられる環境を守るためのやむを得ない措置である。行政には、今後さらなる医療費の抑制や予防事業の充実に努めることを求め、苦渋の選択として本案に賛成する。

### 1人当たりの年間保険税額

	改正後	改正前
年間保険税額	103,440円	85,945円
現行との差額	17,945円	

### 令和8年度末の基金残高、保険税収入見込み

	改正後	改正前
基金残高	12,643,817円	△28,367,749円
保険税収入	242,479,567円	201,468,000円

区分	改正前		改正後	
持ち込み (一般家庭)	10kgまで	40円	30kgまで	300円
	10kg超、10kgごと	40円	30kg超、10kgごと	100円
持ち込み (事業所)	10kgまで	80円	30kgまで	300円
	10kg超、10kgごと	80円	30kg超、10kgごと	100円

\* 持ち込み（一般家庭）の手数料については2年間の経過措置を設けます。（令和10年6月30日まで）  
30kgまで240円、30kg超、10kgごと80円

おむつ無料収集			
対象おむつ	条件	収集日	注意事項
・紙おむつ ・紙パンツ	・汚物を取り除く ・透明または半透明に「紙おむつ」と書く	各地区の可燃物収集日	・紙おむつ以外のごみ混入があれば収集しない ・ペット用おむつ、トイレシートは対象外 ・家庭で使用した紙おむつ類のみ対象 ・指定の可燃物の袋でもかまわない

# 令和7年度 主な議案

## 令和7年度 各会計の補正予算

区分		今回の補正額	補正後の額
一般会計補正予算(第6号)		△4,849万円	79億7,439万円
国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		6,041万円	14億6,856万円
介護保険特別会計 補正予算(第2号)	保険事業勘定	△328万円	14億5,614万円
	サービス事業勘定	0円	223万円
後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		489万円	2億2,725万円
国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)		4万円	1,258万円
水道事業会計補正 予算(第2号)	収益的収支	7万円	3億8,655万円
	資本的収支	△30万円	6億79万円
公共下水道事業会計 補正予算(第3号)	収益的収支	△314万円	9億9,336万円
	資本的収支	△72万円	7億4,074万円
全会計合計		948万円	138億6,259万円

### 一般会計補正予算(第6号) 農業振興費 種子肥料費について

#### 反対討論

決算を見越した補正予算と言いながら、農業振興費の種子肥料費については新規の事業でまだまだ検討の余地がある。  
農業体験施設の活用について所管委員会でも報告がされているが、全体的な方向性が決まっていない中で予算化することについては反対せざるを得ない。

#### 町長答弁

特産品づくりは、役場・農協・生産者の三位一体で取り組まなければならない。  
関係機関との協力体制ができている今始めなければまた1年遅れてしまうためご理解いただきたい。

### 廃棄物の処理及び清掃に関する 一部改正の件（クリーンセンター）

令和8年7月1日  
スタート

区分	種類（袋の色）	改正前	改正後
一般廃棄物	可燃物（青色）	大： 45円 小： 30円	大： 45円 小： 30円 特小（新設）： 20円
一般廃棄物	不燃物 ・ ガラス類（桃色） ・ 金属類（緑色）	不燃物 ・ ガラス類（桃色） ・ 金属類（緑色）	・ ガラス類 }（緑色）統合 ・ 金属類 }

\* 特小袋が新たに加わります。

\* 不燃物の袋が緑色に統合されます。



# 委員会報告

## 総務厚生委員会

11月25日(火)

【所管事務調査】

### 1. 条例等について

① 職員の給与に関する条例等の一部改正について

● 国の動きにあわせて、職員給与を見直し

・ 令和7年度の国の人事院勧告の内容に準じて佐々町の条例を改正するもの。

② 佐々町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

● もしもの時に備えて、保育のルールを整理

・ 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する内閣府令が公布され、家庭的保育事業等の設

備及び運営に関する基準の改正が行われたことに伴い佐々町の関係条文の整理をするもの。(佐々町内において該当施設なし。)

③ 佐々町国民健康保険税条例の一部改正について

● 国保税率、被保険者の負担及び低所得者層に配慮

・ 国民健康保険運営協議会において、4パターンで試算した税率改正について審議を行った。結果、被保険者への負担に配慮し、県が示す標準保険料率と現行の税率の中間に設定したもの。

④ 佐々町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

● ごみの持ち込み料金が変わ

ります

・ クリーンセンターの手数料等の改定

① ごみ袋について

(施行予定時期：令和8年7月1日)

可燃物(特小)を新たに作成。

不燃物ガラス類と不燃物金属類の袋を緑袋に統一。



現在の不燃物ごみ袋

② 直接持ち込みについて

(施行予定時期：令和8年7月1日)

30kgまで300円。

30kg超10kgごとに100円。

※2年間の経過措置

(経過措置完了予定時期：令和10年6月30日)

30kgまで240円。

30kg超10kgごとに80円。

経過措置は、一般家庭の持ち込みに限ります。

③ 紙おむつ無料回収。

(施行予定時期：令和8年7月1日)

条例改正等なし。

### 2. 国民健康保険税率改定の考え方について

※ 条例等について(佐々町国民健康保険税条例の一部改正について)と関連しているため省略。

### 3. クリーンセンター手数料の改定について

※ 条例等について(佐々町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について)と関連しているため省略。

### 4. 辺地総合整備計画策定について

● 大茂・江里地区、暮らしやすさ向上へ

辺地とその他の地域とのあいだにおける住民の生活文化

水準の著しい格差の是正を図るために、当該辺地の公共的施設の計画的な整備について、財政上の特別措置等を受けるために策定するもの。(町内の辺地は大茂と江里だけ)

### 【その他報告】

① 佐々町組織規則の一部改正について

● 総務課内に「危機管理班」を設置

② 町有施設の事故による和解及び損害賠償について

● 佐々幼稚園跡地での事故対応を報告

③ 子ども・子育て支援金制度について

● 子育てを支える新たな制度が創設

④ 定額減税補足給付金(不足額給付)について

● 全申請分の支給が完了したことを報告

⑤ 個人住民税電子申告について

● 申告手続きもデジタル化へ

# 産業建設文教委員会

11月13日(木)

## 【所管事務調査】

### 1. 庁舎建設事業について

#### ■解体が進む旧庁舎、その後は駐車場へ

庁舎建設事業については、現在、旧庁舎の解体工事を行っており、解体後は駐車場として整備される計画であるとの説明があった。旧庁舎解体後の2工区・3工区の整備に関しては、県への開発行為変更申請および建築確認変更申請が必要となり、一定の期間を要する見込みとされている。物価高騰の影響を踏まえ、継続費予算の範囲内に収めることを優先し、事業費を抑える検討を重ねているとのこと。工事完了時期は令和8年度末を見込み、進捗に応じて議会へ説明しながら進めるとされた。

寄り付き駐車場については、障がいのある方に限らず、

妊婦や小さな子ども連れの方も利用できる運用を検討するとの説明を受けた。



本格的に解体が始まった旧庁舎

11月26日(水)

## 【所管事務調査】

### 1. 第7次総合計画後期計画・第3期総合戦略の策定について

#### ■佐々町の「これから」をどう描く？総合計画の見直し

第7次総合計画後期計画および第3期総合戦略の策定に向け、総合計画審議会の開催や庁内会議、パブリックコメントの実施を予定していると

の説明があった。町の将来像「暮らしのいちばん！住むならさざ」については、変更も含め検討した結果、住民に浸透していることから継続使用する方向で進めているとのこと。人口目標については、国勢調査の結果を踏まえ、2030年の目標人口を下方修正する必要があるとの認識が示された。

### 2. 学校給食費の公会計化について

#### ■給食費の集め方が変わる？公会計化に向けた準備

学校給食費の公会計化について、令和8年度2学期からの導入を目標に、関係条例案を3月議会に提案予定との説明があった。食材調達は品目ごとに方法を分け、地場産品については個別発注を行う方針。給食費は町の債権となることから、債権回収事務を円滑に進めるためのマニュアルを作成し、業務フローに沿って対応すること。

### 3. 庁舎建設事業について

#### ■旧庁舎解体の進捗状況

解体工事の過程でアスベストが確認され、対応のため工程が遅れているとの報告があった。進捗状況を確認し、令和8年3月末までに完了できるよう対応していくとのこと。

#### 【その他報告】

#### ■災害の爪痕と復旧への道のり

令和7年8月の大雨により被災した農地および公共土木施設について、災害査定の結果、国庫補助事業として採択されたとの報告を受けた。一方で、標準工期の確保が難しいことから、いずれも事業の繰越しを行う予定であるとの説明を受けた。

#### ■続けるために、見直す。農業体験施設

農業体験施設では維持管理費が課題となっており、令和

8年度以降は運営体制を5名から3名に縮小する方針が示された。人員削減による経費削減効果は約760万円と試算されている。また、民間事業者による運営の可能性について情報収集を進めているとの報告があった。

#### ■老朽化する施設、どうする？千本公園プール

千本公園プールは老朽化が進み、配管の損傷による水道料金の増加や利用者の減少が報告された。今後については、小中学校のプール環境も含め、プール事業全体の在り方を検討すべき時期に来ているとの認識が示された。

#### ■子どもたちが議場に立つ日

令和8年2月15日に本会議場で「子ども議会」を開催予定との報告を受けた。動画配信については、個人情報への配慮や保護者の承諾を前提に、今後検討するとされた。

# 令和7年12月定例会 賛否表

○は賛成 ×は反対

議案番号	議案件名	須藤敏規	棚橋優汰	黒田龍之介	井上智恵美	中川由美恵	山之内英樹	横田博茂	永田勝美	長谷川忠	川副剛	評決数	結果
69	職員の給与に関する条例等の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	川副議長は裁決に 加わりません	9対0	原案可決
70	佐々町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
71	佐々町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
72	佐々町国民健康保険税条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	×	○		8対1	原案可決
73	令和7年度 佐々町一般会計補正予算(第6号)	×	○	○	○	○	○	○	×	○		7対2	原案可決
74	令和7年度 佐々町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
75	令和7年度 佐々町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
76	令和7年度 佐々町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
77	令和7年度 佐々町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
78	令和7年度 佐々町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
79	令和7年度 佐々町公共下水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決

## 請願

件名	付託委員会
物価上昇に見合う老齢基礎年金等の支給額の改善についての請願	議会運営委員会



出初式での役場新庁舎への放水のようす



## 中川 由美恵 議員(一問一答)… 10ページ

### ●防災対策・要配慮者支援について

- ①高齢者、発達特性、障害者へ向けた避難訓練計画
- ②要配慮者への避難所での支援、対応
- ③食物アレルギー対応食の備蓄状況と管理

### ●特別支援学級について

- ①特別支援学級についての見解
- ②三校の現状
- ③支援員の配置
- ④情報共有
- ⑤学校と保護者の関わり
- ⑥担任と支援員の役割と体制
- ⑦外部専門家との連携

## 井上 智恵美 議員(一問一答)… 11ページ

### ●こども参画まちづくり

- ①全天候型遊び場設置にむけて
- ②夏祭りについて
- ③下校放送について

## 永田 勝美 議員(一問一答)…… 12ページ

### ●子育て支援について

- ①学校給食費無償化について
  - ・次年度に向けた小学校の無償化検討状況
- ②小中学校体育館への空調設備設置について
  - ・前回議会以降の検討状況
- ③保育児童の負担軽減について
  - ・保育料無償化、副食費無償化の取り組み

### ●農業体験施設について

- ①設置の経過と活用の実態、今後の運営について
  - ・設置の目的、赤字という概念
  - ・今後の運用の基本姿勢
  - ・必要な改修と雇用の確保

### ●役場職員の人材確保について

- ①新年度の人材確保計画について
  - ・会計年度任用職員の能力発揮に向けた取り組み
  - ・短時間正職員制度を検討できないか

### ●物価高騰対策について

- ①町の物価高騰対策について

### ●くらし・福祉の充実に向けて

- ①「きこえ」の支援。補聴器購入助成について
  - ・町としてきこえの支援の必要性について。
  - 町として支援はしない方向か。

一問一答方式…………… 1つの質問に対して1つの答えを返し、質問と答弁を繰り返す方式。  
一括質問・一括答弁…複数の質問項目をまとめて質問し、まとめて答弁を行う方式。

## 山之内 英樹 議員(一問一答)… 13ページ

### ●佐々町の教育行政におけるAI活用の推進方針について

- ①AIの総合的な教育導入
- ②AIリテラシー教育の構築と批判的思考力の育成
- ③生徒と教職員のメンタルヘルス支援とウェルビーイングの確保

### ●「タイミー」を活用した労働力確保と地域活性化について

- ①労働力の確保と地域活性化を同時に実現する方策

## 黒田 龍之介 議員(一問一答)… 14ページ

### ●政府の「責任ある積極財政」に連動した佐々町総合計画の後期計画の策定について

- ①後期計画はどのような視点や方向性で策定する方針か
- ②策定委員会のメンバーや今後のロードマップ
- ③多世代の意見反映について

### ●佐々町版DX推進計画の策定について

- ①佐々町のDX推進計画の策定
- ②DXの効果
- ③子育て支援や高齢者生活支援へのDX転換

### ●佐々川を舞台とした地域活性化について

- ①教育資源、文化資源としての活用
- ②親水護岸の整備やシロウオ漁、ウナギ漁への支援
- ③佐々川のイベントの実態と今後の展望

## 棚橋 優汰 議員(一問一答)…… 15ページ

### ●町内の町おこしについて

- ①Eスポーツでの町おこし
  - ・Eスポーツの普及
  - ・Eスポーツによる認知症予防や高齢者の健康推進
  - ・Eスポーツの大会やお祭りをを行う場合、佐々町として支援や協力は可能か

### ②おくんち開催への補助金について

- ・おくんち開催に対する補助はできないか

### ●町内業者との関係性について

- ①町内業者との関係性
  - ・サンセットロードの清掃活動の町内業者の参加率
  - ・災害協定が結ばれていないのは本当か？
  - ・最低制限価格が5%下がったことによる町内業者の落札率
  - ・町内に本社や支社がない場合、町の税収が見込めないのでは？
  - ・今後の町内業者との関係性

※次のページからの一般質問の記事は、質問した議員本人が執筆したものです。

# 特別支援学級の支援員配置について

小学校5名、中学校2名です。小学校には学習生活支援員3名配置しています。まだまだ、十分ではないと認識しております。



中川 由美恵

現在の配置人数で十分な支援がおこなわれているか

## 特別支援学級について

■質問

特別支援学級は在籍児童生徒が増加しており、合理的配慮の提供が法的義務となった。国や県の方針を踏まえ、佐々町の特別支援学級について、どのような認識を持たれているのか。

■教育長

特別支援学級の増加については、十分認識しています。多世代包括支援センターにおける相談、特別支援学校によるセンター機能の充実によって、早い段階での発達支援がなされており、特別支援学級に対する認識が幅広く進んでいる印象です。

■質問

現在の三校の特別支援学級、通級指導教室、発達特性に近い傾向にあるがどちらにも在籍していない児童生徒も含めて、在籍児童生徒数を伺う。

■教育長

知的障害学級20名、自閉症・情緒障害学級45名、病弱学級4名、通級指導教室72名、どちらにも在籍していない児童生徒242名です。

■質問

交流学級で学ぶ際は、担任や支援員の情報共有が重要である。三校における情報共有は十分にできているのか。

■教育長

支援員や、担当教員が積極

的に行っているという報告を受けています。

■質問

支援体制が不十分な場合、保護者への付き添い依頼や責任の不明確さが生じている。母子分離の機会を損なう課題も踏まえ、学校と保護者の関わり方が適切であるのか。

■教育長

付き添いをしていただいている保護者がいらつしやるのは重々承知しています。付き添いをお願いする場合は、連携をとりつつ、無理のない範囲で、適切な教育効果が図れるような協力体制をお願いすることもあると考えています。

■質問

担任は教育の責任を担い、支援員は生活や安全面を支える役割である。現在、担任と支援員の役割分担が過度な負担なく適切な体制なのか。

■教育長

十分ではないと思つてます。次期学習指導要領の改定が進められています。多様性を包摂する教育、一人一人に対応できる教育体制を進めます。

■質問

外部専門家と連携することは、児童生徒に応じた支援や担任・支援員の負担軽減につながる。三校における連携体制が十分なのか。

■教育長

体制は整っています。本町

には、多世代包括支援センターがあり、保健師を中心に外部専門家との連携を図っています。

今回、現場の具体的な問題を把握するため、三校の関係者教員、支援員にアンケート実施しご協力いただきました。支援員不足など、たくさん課題があり、子ども達に丁寧な支援を行うには現場の負担軽減が不可欠であると感じました。

## 防災対策要配慮者支援について

■質問

近年、地震や豪雨など支援災害が各地で相次いでいる。災害時に配慮を要する高齢者や障害のある方等への対応が重要。避難訓練計画の予定はあるのか。その中に、支援が必要な方を想定した内容が含まれているのか。

■町長

現時点では、対象を絞つての計画はありません。将来的に総合防災訓練の実施を考えています。その際には高齢者、発達特性、障害者の方々の避難訓練を実施したいと考えています。

■質問

要配慮者への避難所での支援や対応について町の考えと取り組みはあるのか。

■町長

要配慮者の方も開設した避難所へ避難していただき、生活が難しい方がおられた場合は、別の施設を要支援者向けの避難所として開設すること、今後検討します。

■意見

避難所での支援や対応には、プライバシーや生活面への配慮など女性の視点が重要です。支援体制に女性に関わり意見が反映される仕組みが必要だと思ひます。

■質問

備蓄食はアレルギー対応ができています。備蓄状況と管理体制は十分なのか。

■総務課長

アレルギー特定原材料28品目不使用のもので味付けご飯など2400食備蓄しており、消費期限が近づいたものは、フールドライブを活用しています。



アレルギー特定原材料28品目  
不使用の備蓄食





井上 智恵美

## こども参画まちづくりをテーマに3つの提案!!

地域の一員として、子どもたちにもっと佐々町に興味を持ってもらえるように…

まちづくりが地域ぐるみの活動へと発展していくように…

■町長 公約の中で、子どもから高齢者まで利用できる屋根付き広場の建設を掲げております。そこで課題となるのが、建設費や維持管理費、安全対策などが挙げられると思います。まずは活用できる補助金がないか、長期的に維持可能な施設となり得るのかなど、様々な角度から検討し、判断していきたいと考えています。その際には、子どもさんから高齢者の方を対象に、いろんな意見を聞きながら進めていきたいと思っています。

### 全天候型遊び場 設置に向けて

#### ■質問

天候に関わらず家族で過ごせる施設を、子どもたちの意見を取り入れて設置できないか？



メリッタキッズ

### 夏祭りについて

#### ■質問

今年までの運営企画はどこが？花火が上がらなかった理由は？なぜ縮小傾向にあるのか？それは何が要因と考えるか？

#### ■企画商工課長

昨年までは商工会青年部を中心とした「佐々町ゆめづくりプロジェクト」が実行委員会を務めていましたが、寄付金集めや準備、運営など負担が大きいため、今年から観光協会が実行委員会を務めることになりました。協議を行っていく中で、花火を打ち上げず盆踊りを中心とした昔ながらの夏祭りをしてはどうだろうかという意見になりました。



夏祭り



例年よりも出店者も増え、来場者も7,000人程度と、会場は狭かったですが、コンパクトでまとまったお祭りになったのではないかと考えています。手持ち花火の配布も行い、みんなで花火をする取り組みは子どもたち向けの企画になったと思っています。

#### ■質問

どのようにしたらもっと盛り上がる？何か来年のビジョンは？

#### ■企画商工課長

花火は再度検討したいという意見も出ています。場所はそのまま中央部で行こうかと話に出ています。

#### ■質問

まずは小さなことからいいので、子どもたちが何か参画できないか？

#### ■企画商工課長

実行委員会で協議をする際には、検討していただくようにしてみたいと思います。

### 下校放送について

#### ■質問

下校時間になると子どもたちの声で町内放送が流れるようにできないか。

#### ■教育長

本町においては、佐々町登下校安全プランを基に、子どもたちを守るための活動を行っているところですが、子どもたちの声で見守り放送があることによって、自覚度も高まると思います。PTAや地域、防災行政無線の担当課など、多方面の意見も伺いながら、研究したいと考えています。



町内放送



# 農業体験施設は町民の大切な財産 今後に向け、ていねいな議論を

## 令和8年度中には方向性を決めたいと思います

農協体験施設(旧学童農園)が、維持費用節減のため、人員削減がすすめられようとしています。この間の成果を確認するとともに、町民の声をよく聴いて、今後の方向性を検討するよう求めました。



永田 勝美

### ■質問

農業体験施設は年間4,600人もの利用者があり、植え付け・収穫体験に参加した児童には、新鮮な感動と喜びをもたらす施設として、町民の貴重な財産と言いつべき施設となっている。人員削減を先行させるのではなく、町民の声を聴いた、ていねいな検討を進め方向性を示すべきではないか。

### ■町長

(体験施設が)長年にわたり、食べ物ができるまでの苦労や大切さを学べる環境を提供できたことは大いなる成果だったと思います。

一方で、課題としては、保育園や地区の小学生などの利用はあるものの、利用者の伸び悩み、施設の老朽化は深刻な状況にあると認識しています。収支としては非常に厳しい状況です。

最低限、子どもたちに作物を作って収穫をしてもらうことは守りたいので、3名体制でできないかと研究をして、

令和8年度中には方向性を定めたいという状況であり理解をお願いしたい。

### ■意見

町民にとって活用できる施設として、基本方向をまとめ、「人減らしありき」という誤解を与えないよう、町民に対するアピールがいるのではないか。

あわせて、施設の農業の仕事を担当していただく人材と雇用の確保を意識していただきたい。



子ども達に収穫の喜びを！体験農園

## 町職員の人材確保に向け 短時間正職員 制度の検討を

## 鳥取県の経験の波及状況 など注視していきたい

会計年度任用職員(臨時職員)の能力発揮と人材確保が課題となっていて、短時間正職員制度導入のうごきも研究をすすめるべきと考え、町長の見解を求めました。

### ■質問

町職員の間で会計年度任用職員の割合が高くなり、その役割発揮が期待されている。

いま全国で導入が始まっている「短時間正職員制度」は、勤務時間が短時間でも退職金をはじめとした各種の処遇を正職員並みとし、役職就任を含めたキャリアアップも可能とする事で、多様な働き方、能力発揮を実現している。

佐々町としても、研究していく必要があるのではないか。

### ■町長

短時間勤務制度については、

鳥取県が働き方改革を進めるに当たって、短時間勤務でも雇用形態が正職員と同じとしており、地方公務員制度の大きな改革であると認識をしています。

令和7年3月に制定された「特定の職の人材確保のための鳥取方式短時間勤務を導入する緊急措置に関する条例」においては、人材の確保が喫緊の課題となっている職種の採用となっており、同制度の対象は、保育士や看護師、歯科衛生士、臨床心理士など、資格が必要な職種となっています。

人口減少社会において、人材確保や多様な働き方のニーズへの対応は重要な取組ですので、同制度の運用状況や、国・他自治体への波及状況について注視していきたいと思っています。

※以上のほか、学校給食費無償化の拡大、体育館へのエアコン設置について、保育児童の負担の軽減について、「きこえ」の支援、補聴器購入助成、などについて、質問・提案を行いました。



山之内 英樹

タイミーを代表とするスポットワークマッチングサービスを、本町において、労働力確保と地域活性化の両方を支えるツールとして、戦略的に活用していくべきだと考えるが、見解を伺う

公園の草刈りやイベントの補助については、ボランティアのマッチングアプリを研究してほしいということで、現在指示しているところです。

■町長

良い人材が来ればありがたいが、人物が分からず、責任感や礼儀、処理能力等が判断できないため難しいと考えています。公園の草刈りやイベント補助については、ボランティアのマッチングアプリを研究するよう指示しています。シルバー人材センターの活用や町内優先の雇用の考えもあり、タイミーは本町にはそぐわないという感想ですが、今後とも研究したいと考えています。

佐々町の教育行政におけるAI活用  
の推進方針について

■質問

AIの総合的な教育導入について、その基本的な考えを伺う。AIの導入は、個別最適な学びを加速させる上で不可欠である。教育長はこの技術をもとのように総合的に取り入れ、これからの佐々町を担う子どもたちにどのような資質や能力を育んでいきたいとお考えか。教育の根幹をなす理念とその方向性について、教育長の答弁を求める。

■教育長

AIを含むデジタル技術の活用は必要不可欠で、「よりよき創り手」「よりよき使い手」を育成したいと考えています。GIGAスクール2期で端末更新を行い、無料アプリも含め活用を模索します。知識習得に加え非認知能力も重視し、発達段階に応じ、バランスを大切にしながら進めます。

AIリテラシー教育の構築と批判的思考力の育成(概念的側面)について

■質問

AIリテラシー(批判的思考・ハルシネーション対応)と生成AIの誤情報への対応として、町独自の利用指針策定と検証能力育成を最優先で進めるべきではないか。

■教育長

インターネット検索では複数の情報を得るなど、発達段階に応じて指導しています。情報活用能力や情報モラル教育は学習指導要領にも明記されています。生成AIの利用指針は現在設けていないため、作成の必要性を感じています。

来年度の第4期教育振興基本計画策定時に、利用指針と併せ総合的な計画を作成したいと考えています。

生徒と教職員のメンタルヘルス支援とウェルビーイングの確保について

■質問

AI導入を単なる効率化だけでなく、学校全体の心の健康と新しい教育文化の創造につなげるべきだと思ふ。AIを活用した生徒のメンタルヘルス支援と早期介入体制の強化について、対面では相談しにくい悩みもAIなら打ち明けられる子どもたちがいる。AIチャット相談システムを悩み相談の初期接点として導入し、そこから教員やスクールカウンセラーへ適切につなぐ連携体制を構築するべきだと考えるが、見解を伺う。

■教育長

先行事例は把握しており、気軽に相談できる意義は大きいと思います。一方で、対応側の時間的制約や重篤事案で医療介入が遅れる等の課題もあります。本町は不登校児童生徒が多い課題があり、県教

育委員会のLINE相談の活用も踏まえつつ、前向きに検討したいと考えています。

■質問

新しい教育文化(教員の役割転換)の創造について、AIが知識を教える部分を担い、校務を効率化することで先生方の役割も変わらなう。知識提供者から、生徒と共に学び、伴走する学習の促進者、ファシリテーターへ、この役割転換こそが先生方のプレッシャーを軽減し、同時に生徒の主体性を育む鍵になると考えるがいかがか。教員と生徒が共に学ぶという新しい関係性への転換、このような考え方について伺う。

■教育長

中央教育審議会でも主体的に学び続ける力の育成が議論されています。町内校でも「主体的な学び」をテーマに研究を進めています。知識習得における教師の指導は今後も必要ですが、学び方の指導への転換も必要であり、第4次教育振興基本計画にICT活用による学習の発展と業務削減を盛り込み、児童生徒の育成に努めたいと思っています。

# 政府の「責任ある積極財政」に連動した佐々町 総合計画の後期計画の策定について



黒田 龍之介

住民の安全安心を確保しながら町政を進めていきます

佐々町総合計画後期計画に濱野町長のビジョンを！

## ■ 質問

総合計画は町行政の最上位計画であり、町の「設計図」である。16年ぶりに町長が交代した今こそ、濱野町長の政治理念や、これからの佐々町の姿を後期計画に明確に反映すべきではないか。また、若者や子育て世代の声が十分に反映されているのか。

## ■ 町長

安全・安心のまちづくり、子育て支援、健康増進を重点とし「佐々町に住んでよかった、住み続けたいと思える町」を目指していきます。後期計画についてですが、町政は継続性ということを鑑みて、変えられるところは変えていきたいと思っています。

## ■ 企画商工課長

小中学生を対象にアンケートや高校生との座談会など、次世代の意見聴取を実施しているところです。

## ■ 意見

総合計画は、町の未来を決

める大切な約束事であるため、より多くの世代の生の声を計画づくりに生かし、町民みんなでつくる「自分たちの計画」にしていく必要がある。前回私が一般質問した町政懇談会の開催を早期に検討していただき、行政からも町民に総合計画など思いを伝えてほしい。

## 佐々町版DX推進 計画の策定について

## ■ 質問

佐々町にはDX推進会議があるが、町としての明確なDX推進計画は存在しない。防災、子育て、行政サービスなど、暮らしのあらゆる場面でDXをどう活用していくのか、方向性と優先順位を示す「佐々町版DX推進計画」を策定すべきではないか。また、地域振興のための給付金等をデジタル地域通貨として導入すること、町内だけで資金が還流し、財政確保や行政改革に

つながっていくのではないか。

## ■ 町長

DXは重要であり、現在はDX推進会議を設置し、総合計画の中でDXを位置付けていますが、現時点で独立したDX推進計画の策定は予定していません。地域通貨については、商工会と連携して研究を進めていきたいと思っています。

## ■ 意見

DXは、デジタルに詳しい人のための政策ではなく、高齢者や子育て世代の暮らしを豊かにし、守るための道具である。使っているうちに「いつの間にか便利になっていった」と感じてもらえる仕組みづくりが大切だと考えている。

## 佐々川を舞台とした 地域活性化について

## ■ 質問

佐々川は佐々町のアイデンティティとも言える存在である。教育・文化・観光の軸と

して再評価し、流域自治体と連携した活用や、親水護岸の整備、イベントの再構築など、町の「核」となる戦略を描くべきではないか。

## ■ 町長

現在行われているイベントとしては、河津桜・シロウオまつりでの漁体験などがあります。過去に開催されていた筏下り大会の復活ができないか、また、カヌーやサップを個人的に楽しまれている方もいますので、研究していきたいと思っています。

## ■ 意見

佐々川は、町の歴史と未来をつなぐ大切な資源である。日常の中で子どもたちや家族が集える川として育てていくことや、シロウオやウナギ等を再評価し、ブランド化を進めていくことで、佐々町の誇りになっていくと信じている。





## 町内業者との関係性について

### 建設業者との信頼関係は町づくりにおいて不可欠な要素です

棚橋 優汰

#### 町内業者との関係性について

■ 質問

サンセットロードの清掃活動への町内業者の参加率が前年度より下がっているが、町長はどう思っているのか。

■ 町長

今回の一般質問でこのような事業があると知りました。参加されない理由については、おのの聞いたわけではないので何とも言いようがないという状況です。

■ 質問

町内業者と災害協定が結ばれていないと聞いたが本当なのか。

■ 町長

「大規模災害発生時における支援活動に関する協定書」により、双方から特段の意思表示がない場合は、期間満了日の翌日から1年間更新するものとし、本協定は継続していきます。

■ 質問

最低制限価格が5%下がったことによる町内業者の落札率はどのようなものか。

■ 建設課長

最低制限価格が下がってから29件中15件、町内業者が落札しています。

■ 質問

入札の参加は佐々町に本社がある、または営業所があるといった地域貢献状況の高い業者から選定になると選定要領にも書いてあるが、この政策はいつまで続くのか。

■ 町長

今年度までの暫定措置です。

■ 質問

今後の町内業者との関係性を町長としてどう考えているか。

■ 町長

建設業者との信頼関係は公共工事の円滑な実施や地域経済の維持・発展、そして町づくりにおいて不可欠な要素だと思っています。

#### 町内の町おこしについて

■ 質問

eスポーツの普及について何かやっているのか。

■ 総務課長

昨年度、町内会長会の研修でeスポーツを行った経過があります。

■ 多世代包括支援センター長

地域サロンのほうで今年度5か所、計6回、町内会で活用されています。

認知症予防や地域コミュニティの活性化につながるものが期待されています。



eスポーツのようす

■ 質問

佐々町の活性化のため、eスポーツの大会やお祭りを佐々町で行いたい、町としての支援や協力等が可能であるか。

■ 町長

具体的な計画書を作ってもいい、企画商工課のほうで基金の事業があるため、計画書、収支計算書等を出していただければ検討します。

佐々町の活性化のためには町外の方を呼び込むことが、財源の確保につながる!!

■ 質問

おくんち開催への補助金について、小浦で行われている、子ども相撲や子泣き相撲のイベントにおいて補助等はできないのか。

■ 町長

過去に青少年健全育成会のほうで助成した実例はあります。今回どうするのかというのは、まだ判断ができていない状況です。

# 西九州自動車道建設促進大会

## ■日時

令和8年1月17日（土）  
午前11時～

## ■会場

鹿町地区コミュニティセンター

## ■内容

- ・進捗状況報告
- ・地元意見発表

## ■決議

- 一・松浦佐々道路、伊万里松浦道路及び伊万里道路の早期完成
- 一・佐世保中央IC～佐世保大塔IC間の4車線化の早期完成及び武雄南IC～波佐見有田IC間の4車線化の整備促進
- また、波佐見有田IC～佐世保大塔IC間の4車線化の早期着手
- 一・地方創生2.0により日本全体の経済の活力を取り戻していくため、国内投資拡大や生産性向上につながる高規格道路の整備及び暫定2車線の4車線化など、幹線道路ネットワークの機能強化を図ること
- 一・「第一次国土強靱化実施中期計画」の実現に必

## ■所感

- 要な予算について、通常道路予算とは別枠で確保するとともに、予算編成過程でも資材価格や人件費の高騰等の影響を適切に反映し、必要な予算を満額確保すること
- 一・大規模自然災害に即応するための地方整備局などの体制強化や必要となる資機材の更なる確保に取り組むこと
- 西九州自動車道建設促進大会に参加し、全線開通にむけた関係者の強い思いと、これまで積み重ねられてきた努力を改めて実感した。
- すでに開通した区間では、移動時間の短縮や地域間のつながりの強化といった効果が現れており、道路整備が地域暮らしや経済、防災に果たす役割の大きさを再認識した。
- 一方で、未開通区画や4車線化が進んでいない区間も残されており、道路は「つながってこそ価値を発揮する」という言葉が強く印象に残った。
- 今後も沿線自治体と一体となり、国・県と連携しながら、早期完成に向けた取り組みを継続していく必要性を強く感じた大会であった。



ガンバロー三唱



事業計画概要図

## インターンシップ生を受け入れました

佐々町議会では、学生の皆さんに役場の仕事を知ってもらい、実際の業務体験を通して将来の進路選択に少しでも役立ててもらうため、県内の高等学校及び大学からインターンシップ生の受け入れを行っています。

今回は、令和7年12月9日から11日までの3日間、長崎県立佐世保商業高等学校の1年生1名を受け入れ、以下のような業務を体験していただきました。

### <主な体験業務>

- ・会議室の準備、片付け
- ・会議（委員会）への出席
- ・会議の結果報告作成
- ・会議録の反訳
- ・給仕



議会広報委員会のように



会議録反訳のように

## インターンシップを通した学び

長崎県立佐世保商業高等学校1年 石田 結花

私は、佐々町役場議会事務局で3日間インターンシップを体験させていただきました。初めは、どんな仕事をするのかぼんやりとしかわかりませんでしたが、実際に仕事をさせてもらい、すごく難しく大変でした。資料の準備や、議員さんへのお茶出し、会議録の作成などを体験させていただきました。

会議録の作成は初めてのことでとても時間がかかりました。何度も聴きなおし、間違いがないのかという確認を行い、自分が知らない難しい言葉が出てきたら調べて作成することが大変でした。緊張していて上手く対応ができなかった場面がありましたが、議会事務局の方や議員さん方が話しかけてくださったので少しずつ緊張が解け、自分から分からないことを質問できるようになりました。今回のインターンシップで私は「コミュニケーション能力の大切さ」を学びました。様々な方とお会いして、挨拶をしたりお話をしたりする中でコミュニケーション能力が必要だと実感しました。私は国際コミュニケーション科なので学校生活の中でコミュニケーション能力を培っていきたいです。

私は進路が明確に決まっていないため、今回のインターンシップを参考に進路について考えていきたいと思います。議員さん方が佐々町のために沢山動いている様子を見て、私も佐々町民として将来佐々町のために動ける大人になりたいです。

定例会前の忙しい期間の中、インターンシップを受け入れてくださった議員の皆様、議会事務局の皆様、佐々町役場の皆様、3日間ありがとうございました。

## インターンシップの石田さんへ

この度は、インターンシップ先として佐々町役場議会事務局を選んでいただきありがとうございました。

私自身、前職において4年間、組織の事務局業務を担当した経験があります。議会事務局の仕事とは、議会や組織全体が円滑かつ継続的に機能するよう、実務全般を支える中枢的な役割を担うものです。また、業務面だけでなく、執行部や議員への対応、対外的な窓口業務など、人と人との関係性も非常に重要であり、人材としての魅力や資質が問われる職務であると感じています。

石田さんは、丁寧な言葉使いで落ち着いて対応され、会議に参加された際には熱心にメモを取る姿が印象的でした。真面目で誠実な姿勢が随所に表れており、将来が楽しみな方だと感じました。

数年後には就職という大きな節目を迎えられると思いますが、今回のインターンシップで得た経験を自信つなげ、夢に向かって着実に前進していただければ幸いです。3日間、本当にお疲れさまでした。

議会広報委員会 委員長 黒田 龍之介





町民の皆様からよせられた

# 声ご意見!!

※原文の通り掲載しています。

## 企業誘致のための

## 土地造成が必要なの？

佐々町議会9月定例会の最終日、傍聴席に置いてある令和6年度決算資料をめくっていると「企業誘致受入適地（小浦南部地区町有地）：購入済面積（約21ヘクタール）が目に残りました。

これは町内に工場等を設置するための用地として取得しているもので、計画では残り14筆（約4.5ヘクタール）を購入する予定のようです。一方、隣の佐世保市には「相浦工業団地（有効面積：約5.8ヘクタール）」があります。この相浦工業団地は分譲を始めて6年が経過しましたが未だ企業の立地には至っていません。

しかも、土地取得奨励金や立地奨励金など佐々町（佐々町工場設置奨励条例に基づく措置）より優

れた優遇措置があるにもかかわらずです。

佐々町の監査による令和6年度決算審査意見書（ホームページ上で公開中）によれば令和6年度に「小浦南部地区工場団地用地費」として1億3千6百万円の予算が措置されています。（過去に用地取得に要した費用を土地開発基金から一般財源に振り替えたもの）しかしながら、取得した土地に工場を設置できるような用地として整備するには樹木を伐採し、切土盛土で土地を均し、取付け道路を整備するなど更に莫大な費用が必要となります。

そもそも企業誘致は自治体に住む住民の雇用場の確保するために取り組むものですが、経済状況や産業構造が変化する中、将来を見通すことは極めて難しく、誘致に応じる企業の最大の関心事は「人材確保」です。進出する企業

の業態に応じた人材が確実に確保できるのか？が見通せなければ如何なる優遇措置を講じても誘致は困難と言わざるを得ません。

町の財政状況を見ると、新庁舎建設やクリーンセンター基幹的設備改良・し尿前処理施設など大型事業が集中したために仕方のないことですが町の貯金（各種基金）は目減りし、借金（町債）が増えています。

今後も各公共施設の老朽化対策などに伴う厳しい財政運営が見込まれることから緊急性や必要性の高いものから慎重に選択して実施する（『あれもこれも』ではなく『あれかこれか』の選択と集中）必要があります。

佐々町には西九道のインターがあり、大型のショッピングセンターや数多くの公園・水量豊富な佐々川を有し、多世代包括支援センターや社会福祉協議会を中心と

して多くのボランティアのみなさん

も活発に活動するなどハード・

ソフトの両面で住むのに適した豊

かな町だと思っています。これら

の特長を活かして整備するとし

た「住環境」ではないでしょうか!?

企業誘致も目的に合致した結果

を見るにはまだまだ長い時間・労

力・費用を要します。ここは大胆

に方針転換を試みて「住宅用地」

としての活用を検討すべきではな

いでしょうか?

佐々町議のみなさんは9月末か

ら10月にかけて6日間にもわたる

決算審査特別委員会で令和6年度

決算を審査する中で佐々町におけ

る様々な課題についても議論され

ています。内容は佐々町議会の

ホームページ上で公開されていま

すが、これは役場の総ての部所か

ら決算の詳細について説明を受け

るとともに内容を精査するという

です。

令和8年3月議会は新年度とな

る令和8年度の当初予算を審議す

る大切な議会となります。前年度

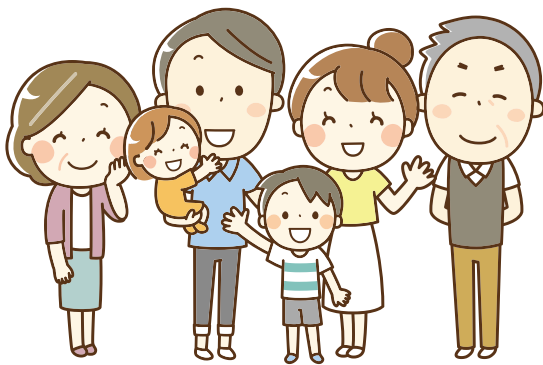
の決算審査で指摘されたポイント

を踏まえた実りある審議を期待し

ています。

佐々町羽須和免

染川 勝英



## 町民の皆様の声を募集します!

佐々町議会では、年4回「議会だより」を発行しています。町民のみなさまとのコミュニケーションツールとしての役割を持てるように、町民のみなさまのご意見をお聞かせいただき、今後の議会活動等に反映したいと思っています。

また、子どもの笑顔をテーマとした表紙写真もあわせて募集します。多くの方のご応募をお待ちしています。

### 募集内容

- ①議会だよりの感想(150字程度)
- ②町政に対する提案(150字程度)
- ③住所、氏名、電話番号を明記してください  
※持参、郵送、ファックスで下記のあて先へお願いします。  
※任意の様式可、③を記載の場合のみ。

### 【佐々町議会事務局】

〒857-0392 佐々町本田原免168番地2

電話:0956-62-2101 ファックス:0956-62-3178

Eメール: gikai@town.saza.lg.jp

※匿名の方については掲載できませんのでご了承ください

原稿を基本としますが記載の際に一部修正をする場合があります。また、紙面の都合上、すべての原稿をお載せできない場合がありますので、予めご了承ください。なお、議員または職員個人に関する記事はご遠慮ください。

## ◆◆町民の声 回答 (No.156号) ◆◆

【新進気鋭・新議員の活躍と躍進を期待】

須崎 免 宮崎 勝紀

【信頼回復に向けた、官民一体の取り組みを】

平野 免 藤永 諭

新たに選出された議員に期待を寄せていただいていることを、議会として大変心強く受け止めています。町政を取り巻く課題が多様化・複雑化する中で、議員一人ひとりが責任を持ち、町民の声に耳を傾けながら議論を尽くすことが求められています。今後、世代や立場の違いを超えた活発な議論を行い、町の将来につながる政策提案と監視機能の強化に努めてまいります。

ご指摘のとおり、町政に対する信頼の回復は最重要課題であり、議会としても重く受け止めています。議会は行政をチェックする立場として、説明責任や意思決定の過程が町民に十分伝わっているかを常に問い直す必要があります。今後は、より分かりやすい情報発信と丁寧な議論を重ね、町民・行政・議会が同じ方向を向いて進める体制づくりに取り組んでまいります。

### ＜訂正とお詫び＞

議会だより156号の7ページ「中期財政見通しの推計」の歳出の表に誤りがありました。お詫びして、下記のとおり訂正いたします。

任意的経費計 (④～⑧) の令和8年度の欄  
(誤) 72億4,000万円  
(正) 27億4,000万円

## 議会日誌

【11月】

7日 議会広報委員会  
12日 第69回町村議会議長全国大会  
13日 産業建設文教委員会  
議会広報委員会  
17-18日 先進地視察研修  
(奈良県広陵町・岐阜県笠松町)

19日 長崎県町村議会議長会

県知事要望

正副議長・事務局長研修会

25日 松浦鉄道自治体連絡協議会

要望活動 (国土交通省)

25日 総務厚生委員会

26日 産業建設文教委員会

【12月】

9日 議会運営委員会  
議会広報委員会

17日 12月定例会 (1日目)

18日 12月定例会 (2日目)

19日 12月定例会 (3日目)

22日 松浦鉄道自治体連絡協議会  
臨時総会

23日 全員協議会

### 次回定例会の傍聴ご案内

3月を予定しています。日程については、広報無線、佐々町公式ホームページでお知らせします。  
12月定例会の傍聴者数は36人でした。

つづやき



議会だよりをまとめながら、これ、ちゃんと読んでもらえているかな、少しは興味を持ってもらえるかな、なんて考えています。

知人から「議会だよりって初めて見た」という声を聞くと、もしかすると、読む人が少しずつ増えているのかな、とも思います。

この一冊が、町のことを考える小さなきっかけになっていたらいいな、と思います。

議会広報委員会

副委員長 山之内英樹

